

指定管理評価表(橋ほか4公園)

令和2年3月31日現在

施設概要	○橋公園(尼崎市東七松町1丁目1-1) 開館時間:軟式野球場 8:00～21:00 (休館日:年末年始) ○小田南公園(尼崎市杭瀬南新町3丁目3) 開館時間:軟式野球場 8:00～21:00 多目的広場 8:00～日没(休館日:年末年始) ○西向島公園(尼崎市西向島町91) 開館時間:軟式野球場 4～9月 6:00～18:00(日・祝 8:00～18:00) 5～8月 6:00～19:00(日・祝 8:00～18:00) 10・11月 6:00～17:00(日・祝 8:00～18:00) 12～2月 8:00～17:00 3月 8:00～18:00 (休館日:年末年始) ○猪名川公園(尼崎市椎堂1丁目502) 開館時間:軟式野球場・テニスコート 3・4・9月 8:00～18:00 5～8月 8:00～19:00 10～2月 8:00～17:00 (休館日:年末年始) ○魚つり公園(尼崎市平左衛門町66) 開館時間:軟式野球場・多目的運動広場 8:00～日没 (休館日:年末年始)			
指定管理者の名称	パークマネジメント尼崎			
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日			
業務概要	有料公園施設(付属設備の利用を含む。)の利用の予約受付(許可、取消し) 公園内においてする行為の許可及びその取消し 公園内においてする行為及び有料公園施設の利用に係る使用料の徴収、減免及び還付に関する業務 公園の施設及び付属設備の維持管理業務			
利用状況等	項目名	令和元年度	平成30年度	平成29年度
	野球場利用件数	1,839 件	1,782 件	2,556 件
	野球場利用収入	14,639 千円	13,818 千円	19,364 千円
所管課・所管課長名	都市整備局土木部公園維持課 ・ 富田 聡一郎			
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日			

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 サービスの質の維持・向上		A	指定事業としては、危険木の除去や遊具の修繕等に対応するとともに、有料公園施設の質の高いグラウンド整備を維持した。自主事業として、公園毎の特性に合わせた事業を展開し、花壇を整備することで四季折々の花が楽しめるような工夫がなされていた。さらに、地域のイベント等に積極的に参加することで、地域コミュニティを構築した。
自主事業・指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか		
施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか		
利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
2 適正な施設の管理		B	前年同月に発生した事案等を振り返ることで円滑な管理運営を図った。また、安全管理に関する研修の充実、作業日報を見直すことで職員の自傷事故防止に努めた。さらに、台風前には高木の剪定を強めることで倒木発生リスクを抑えるなど、事故なく安定した管理がなされた。
施設保守・管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		
職員体制	合理的な配置か、責任体制が整った配置か		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか		
職員研修	職員研修が十分に実施されているか		
3 収支・経費節減		B	備品等の物品を丁寧に扱うことで、無駄な経費の抑制を図っている。
収支状況	収支の状況が適正かつ良好であるか		
経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか、		
4 指定管理者の経営状況等		A	財務諸表により、財務の健全性に問題はないと検証しており、経営は良好である。
会計状況	適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)		
経営状況	経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
5 その他		B	文書等は、適切に簿冊管理されている。職員毎に業務に係る目標を設定し、内部評価も実施されている。
文書等の管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか		
評価の実施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容	左記に関する取組状況とその取組に対する評価
・市民に親しまれる公園づくり ・公園の安全、安心、快適性を高める管理 ・市民ニーズを理解し、サービス向上を図る ・地域団体、各競技団体との連携、サポート	市民に親しまれる公園を目指し、公園毎の特性に合わせた自主事業を展開し、花壇を整備するなど四季折々の花が楽しめるように取り組んだ。また、安全で快適な施設を提供するために、前年の同じ月に発生した要望や事象を振り返ることで、公園の円滑な管理運営を実施している。サービス向上のため、利用者アンケートを実施し、解決可能な内容については迅速に対応している。さらに、地域に根差した公園管理者として、地域のイベント等に積極的に参加することで、地域コミュニティを構築した。

総合評価	総合評価の理由、今後の課題等
B	公園ごとの特性に合わせた自主事業を実施するとともに、園路に花壇を整備することで四季折々の花が楽しめるなど、公園の利用促進に努めた。また、台風被害を受けた野球場については、公園利用者のニーズに対応するため、様々な調整を行うことで臨時共用を実現し、台風前には高木の剪定を強めることで倒木発生リスクを軽減した。従業員の業務中の事故防止に係る研修の実施及び作業日報を見直すことで、安全の確保に関する取り組みを行った。以上の点から、総合的に良好な管理運営を行っていると評価できる。一方で、自主事業の実施回数が少なかったため、公園の利用促進のための事業について、積極的に実施されることを期待する。

※ 評価は、A～Eの5段階評価とする。
 ※ 確認調査の結果をチェックリスト等に記入する。更に1～5の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。
 ※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。
 D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。